

## 「私が本当にしたい寄付」を一緒に考え形にする 【寄付と遺贈の相談窓口】を横浜市社会福祉協議会が開設 学生がデザインした窓口案内板の受領式を 12 月 2 日に開催

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会は、令和元年 12 月 2 日から横浜市ボランティアセンター内に寄付に関する相談窓口を新たに設置します。「寄付で地域に貢献したいがどのようにしたらよいか」といった相談者の意向を丁寧に聞き取り、希望に沿った寄付先や寄付のしかたを一緒に考えます。

また、相談窓口の案内板や寄付に関する冊子を学校法人岩崎学園 横浜デジタルアーツ専門学校の学生にデザインしていただきましたので、同日受領式を行います。

### 1 相談窓口の概要

相談窓口では、福祉施設等の寄付先の情報提供や遺贈に関する手続きの紹介、専門機関の紹介などを行います。

- (1) 開設日 令和元年 12 月 2 日 (月)
- (2) 設置場所 横浜市社会福祉協議会 内 横浜市ボランティアセンター  
(〒231-8482 中区桜木町 1-1 横浜市健康福祉総合センター8 階)
- (3) 受付時間 月曜日～金曜日 9 時～17 時 (休館日：毎月最終月曜日・年末年始)
- (4) 受付方法 電話 (045-201-8620)、来所、メール ([yvc@yokohamashakyo.jp](mailto:yvc@yokohamashakyo.jp))

こんな方はぜひご相談ください！

- ・横浜の福祉に寄付したいが寄付先が分からない
- ・スポーツで頑張っている障害の方を寄付で応援したい
- ・困っている子どものために寄付をしたい
- ・遺贈と言う言葉を聞いたが、どういう事が聞きたい



### 2 受領式

横浜デジタルアーツ専門学校の学生がデザインした相談窓口の案内板と寄付に関する冊子の受領式を行います。

- (1) 日時 令和元年 12 月 2 日 (月) 10 時から
- (2) 場所 横浜市健康福祉総合センター7 階  
横浜市社会福祉協議会 役員室
- (3) 内容 寄付と遺贈の相談窓口のご紹介  
横浜デジタルアーツ専門学校より  
「寄付と遺贈の相談窓口」案内板贈呈  
改訂版「寄付報告書」の贈呈

※取材を希望される場合はご連絡ください。

横浜市社会福祉協議会寄付文化醸成担当課長 若林 拓  
メールもしくは電話 (201-8606) でお願います。

[wakabayasi00@yokohamashakyo.jp](mailto:wakabayasi00@yokohamashakyo.jp)

寄付と遺贈の相談窓口



相談窓口の案内板

裏面あり

### **3 相談窓口設置の経緯**

横浜市社会福祉協議会には、これまでも多くの寄付に関する相談が寄せられていました。相談を受けるなかで、「寄付で社会や地域に貢献をしたいと思いながら、寄付先・相談先が分からない」といったご意見を多く伺ってきました。

そこで、市内全域における地域福祉を推進する団体として相談窓口を設置し、お一人お一人の寄付に託す想いに丁寧に寄り添い、**社会福祉協議会に限らない幅広い寄付先や寄付方法について一緒に考える**ことで、横浜における寄付文化の醸成に取り組みます。

今後も、横浜市社会福祉協議会では、寄付文化の醸成を重点取組に位置付け、各種取組を進めていきます。

### **4 横浜デジタルアーツ専門学校によるデザイン作成の経緯**

横浜市政策局共創推進室が開設している共創フロント(\*1)を通して今回の取組が実現しました。

横浜デジタルアーツ専門学校が導入している「産学連携プロジェクト」(\*2)の一環として、横浜市社会福祉協議会の寄付報告書の改訂を取り上げていただき、7名による「横浜市福祉推進プロジェクト」が結成され、窓口の案内板や寄付に関する冊子を制作していただきました。

\*1 行政と民間が互いに対話を進め、新たな事業機会の創出と社会的課題の解決に取り組むために、横浜市が設置した相談・提案受付窓口。

[HP]<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kyoso/kyosofront/front/front.html>

\*2 在学中に実践的な仕事やインターンシップを実体験するために、企業・自治体と取り組むプロジェクト。



<b>お問合せ先</b>
健康福祉局福祉保健課長 大濱 宏之 Tel 045-671-3994 (窓口について) 横浜市社会福祉協議会地域活動部長 田邊 裕子 Tel 045-201-8606